



2025年12月期 決算短信(日本基準)(連結)

2026年2月13日

上場会社名 株式会社シンシア
コード番号 7782 URL <https://www.sincere-vision.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役執行役員社長 (氏名) 中村 研

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理部長 (氏名) 荒井 慎一

TEL 03(5615)9059

定時株主総会開催予定日 2026年3月26日

配当支払開始予定日

2026年3月27日

有価証券報告書提出予定日 2026年3月27日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期の連結業績(2025年1月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期	7,456	14.0	524	8.2	514	9.9	264	12.4
2024年12月期	6,539	9.7	484	28.6	468	4.8	301	2.1

(注) 包括利益 2025年12月期 177百万円 (50.3%) 2024年12月期 357百万円 (15.2%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年12月期	40.72		9.6	9.5	7.0
2024年12月期	47.25	47.24	11.8	8.5	7.4

(注) 2025年12月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年12月期	5,383	2,818	52.4	431.45
2024年12月期	5,496	2,697	49.1	421.25

(参考) 自己資本 2025年12月期 2,818百万円 2024年12月期 2,697百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年12月期	366	250	338	1,658
2024年12月期	435	421	332	1,888

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年12月期		0.00		19.00	19.00	121	40.2	4.7
2025年12月期		0.00		17.00	17.00	111	41.7	4.0
2026年12月期(予想)		0.00		16.00	16.00		42.3	

3. 2026年12月期の連結業績予想(2026年1月1日～2026年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,657	2.7	388	25.9	362	29.6	246	6.6	37.80

注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年12月期	6,862,200 株	2024年12月期	6,862,200 株
期末自己株式数	2025年12月期	328,741 株	2024年12月期	459,312 株
期中平均株式数	2025年12月期	6,491,279 株	2024年12月期	6,386,715 株

(参考)個別業績の概要

2025年12月期の個別業績(2025年1月1日～2025年12月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期	6,383	8.5	365	14.0	474	1.6	279	17.7
2024年12月期	5,883	3.7	425	6.7	467	1.6	340	6.0

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期	43.12	
2024年12月期	53.28	53.27

(注)2025年12月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2025年12月期	5,208		2,868		55.1		439.02	
2024年12月期	5,354		2,727		50.9		426.00	

(参考) 自己資本 2025年12月期 2,868百万円 2024年12月期 2,727百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	18

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国経済は、雇用・所得環境の改善に伴い、緩やかな回復基調で推移しました。一方、長期化する物価上昇や物流コスト、人件費の上昇、さらに米国の関税政策の動向やウクライナや中東の不安定な国際情勢の長期化など、先行きについては不透明な状況が継続しています。このような環境の下、当社グループは、外部環境の変化に対し耐性のある事業を推進するとともに、お客様に寄り添った製品の提供に注力いたしました。

コンタクトレンズ業界におきましては、急速な少子高齢化に伴う人口減少が進んでいるものの、1日使い捨てタイプのコンタクトレンズへのニーズのシフトや、高機能新素材レンズの普及により1人当たりの購入単価は上昇傾向にあります。また、スマートフォン等のデジタル機器の普及により近視人口の急激な増加・若年化が進んでいます。さらに、カラーコンタクトレンズ市場の拡大等もあり、コンタクトレンズ市場は緩やかながら拡大しているものと推測しております。このような環境の下、当社グループは2025年3月、フリー株式会社よりECサイト「Mewコンタクト」をはじめとしたカラーコンタクトレンズ事業を譲受し、当社グループの事業の軸であるコンタクトレンズ事業の基盤強化を図りました。コンサルティング事業については、昨今の医療脱毛クリニック業界全体における事業環境悪化を受け、各種施策を講じているものの顧客の回帰は厳しい状況となっています。また、システム事業については、成長するリユース市場において、リユース業界向けPOSシステムのニーズも拡大しており、その需要を取り込むべく、営業力等を強化してまいりました。

このような状況下、軸のコンタクトレンズ事業及びシステム事業が堅調に推移したことにより、売上高は7,456,078千円（前期比14.0%増）となりました。利益面では、売上規模拡大による利益増に加え、為替施策が奏功したこと、及び販売管理費の削減により、営業利益は524,522千円（同8.2%増）、経常利益は514,756千円（同9.9%増）、親会社株主に帰属する当期純利益はコンサルティング事業受注先である医療脱毛クリニックの経営環境悪化により、貸付金回収の確実性に懸念が生じ、貸倒引当金 65,000千円を特別損失に計上、その結果264,345千円（同12.4%減）となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりです。

(コンタクトレンズ事業)

当社ブランド製品につきまして、クリアレンズは当社主力製品であるシリコーンハイドロゲル素材コンタクトレンズ「シンシアワンデーS」の売上が堅調であったことに加え、「シンシアワンデーS乱視用」が2025年2月に発売されたこともあり、シンシアワンデーSシリーズの売上高は1,558,525千円（前期比11.6%増）となり、その結果、当社ブランドクリアレンズの売上高は3,432,556千円（同7.3%増）となりました。カラーレンズは、クリアレンズ同様、シリコーンハイドロゲル素材の「シンシアワンデーSクレシェ」が466,544千円（同38.5%増）と大幅に増加したことに加え、「シンシア2ウィークSクレシェ」についても254,323千円（同6.9%増）と好調に推移、さらに2025年3月に譲受したカラーコンタクトレンズ販売事業の売上が新たに加わり、当社ブランドカラーレンズの売上高は830,338千円（同17.3%増）となりました。プライベートブランド製品の売上高につきましては、クリアレンズは、1,993,427千円（同10.0%増）、カラーレンズについても譲受したカラーコンタクトレンズ事業の売上が加わったことで、708,979千円（同104.5%増）と大幅に増加いたしました。その結果、コンタクトレンズ事業の売上高は6,976,206千円（同14.8%増）となりました。セグメント利益は、690,542千円（同9.8%増）となりました。

(コンサルティング事業)

コンサルティング事業につきましては、医療法人緑風会が運営する医療脱毛クリニックの運営管理サポートを行っております。昨今の当業界を取り巻く経営環境の悪化により、当社サポート先医院においても経営状況は厳しいものとなっております。このような状況を勘案し、当社においてもサポート料を見直した結果、売上高は31,000千円（前期比48.3%減）、セグメント利益は13,761千円（同55.3%減）となりました。

(システム事業)

システム事業につきましては、当社の完全子会社である株式会社タロスシステムズは、リユース業界向けPOSシステムのリーディングカンパニーとして、成長するリユース市場において、営業力強化、開発力強化に注力し、さらなるサービス品質の向上に努め、拡大する需要を取り込みました。売上高は448,872千円(前期比10.8%増)、セグメント利益は90,488千円(同57.3%増)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度の財政状態は次のとおりであります。

資産につきましては、前連結会計年度末に比べ112,840千円減少し、5,383,494千円となりました。主な要因は、流動資産の商品が110,652千円、受取手形及び売掛金が80,198千円、その他に含まれる前払費用が75,689千円それぞれ増加したものの、固定資産のデリバティブ債権が113,759千円、無形固定資産ののれんが46,730千円それぞれ減少したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ234,464千円減少し、2,564,627千円となりました。主な要因は、流動負債の契約負債が104,491千円増加したものの、固定負債の長期借入金が217,912千円、買掛金が141,748千円、それぞれ減少したことによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ121,623千円増加し、2,818,866千円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する当期純利益264,345千円の計上及び剰余金の配当121,654千円により、利益剰余金が142,690千円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は52.4%(前連結会計年度末は49.1%)となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ229,497千円減少し、1,658,880千円となりました。

各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、主に法人税等の支払額176,781千円、仕入債務の減少額142,600千円等の減少要因に対し、税金等調整前当期純利益449,756千円の計上等の増加要因により366,841千円の収入(前連結会計年度は435,074千円の収入)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、主に事業譲受による支出160,000千円、貸付けによる支出65,000千円等の減少要因により、250,321千円の支出(前連結会計年度は421,472千円の支出)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、主に長期借入金の返済による支出217,952千円、配当金の支払額121,414千円等の減少要因により、338,526千円の支出(前連結会計年度は332,688千円の支出)となりました。

(4) 今後の見通し

2026年12月期の見通しにつきましては、各種政策の効果等により景気は緩やかな回復傾向が継続することが見込まれます。一方で、米国の通商政策に伴う景気下振れや、物価上昇の継続が個人消費に及ぼす影響などのリスクには留意が必要であり、依然として先行き不透明な状況が続くものと思われまます。

このような環境のもと、コンタクトレンズ事業においては、ユーザーニーズに沿った製品開発と、徹底した品質管理における安心安全をご提供することで、シンシアブランドユーザー拡大を加速してまいります。当社ブランドの主力商品として、眼科医等から高評価を得ている、「シンシアS」シリーズについては、当社が処方施設ルートにおいて後発でもあることから、更なるユーザー拡大の余地も多く残されており、各種拡販施策により処方施設におけるシェア拡大を図ってまいります。さらにドラッグストア販売の強みを活かしたインバウンド需要の取り込みや、顧客ニーズに対応した製品展開により「アイウェル」シリーズを中心に販売強化を図ってまいります。また、EC販売を中心としたカラーコンタクトレンズ事業を当連結会計年度に譲受したことで、既存コンタクトレンズ事業との融合によるシナジーを創出するとともに、更なる事業拡大に向けた戦略的な投資を行ってまいります。コンサルティング事業、システム事業についてもM&Aの推進、並びにPMIに注力して参ります。また新たに薬事関係において、海外から日本に進出する企業を支援する、薬事コンサルティング事業を本格始動してまいります。

以上の状況を踏まえ、次期の連結業績につきましては、売上高7,657,428千円(当連結会計年度比2.7%増)と見込んでおります。利益面は、コンタクトレンズ事業において、市場シェアの拡大を目的としたWEB広告や販売促進等のマーケティング活動への積極的な投資を見込んでいること、システム事業においては、更なる成長のため次期POSシステムの開発に着手する方針であり、その開発投資を見込んでいることなどにより、営業利益は388,532千円(同25.9%減)、経常利益は362,276千円(同29.6%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は246,991千円(同6.6%減)を見込んでおります。今後、業績予想修正の必要が生じた場合には、速やかに公表いたします。なお、想定年間平均為替レートについては、155.0円/USDと設定しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の企業間及び期間比較可能性を確保するため、日本基準にて連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当連結会計年度 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,888,377	1,658,880
受取手形	18,704	34,864
売掛金	1,031,222	1,095,260
商品	983,633	1,094,286
貯蔵品	106,325	88,771
デリバティブ債権	154,194	146,774
外国為替差入証拠金	318,042	339,850
その他	123,265	268,689
貸倒引当金	△8,556	△73,668
流動資産合計	4,615,209	4,653,709
固定資産		
有形固定資産		
建物	26,659	26,659
減価償却累計額	△4,924	△6,379
建物(純額)	21,735	20,279
機械及び装置	46,500	46,500
減価償却累計額	△5,177	△12,077
機械及び装置(純額)	41,323	34,422
工具、器具及び備品	58,395	60,351
減価償却累計額	△52,256	△55,039
工具、器具及び備品(純額)	6,139	5,311
有形固定資産合計	69,197	60,013
無形固定資産		
のれん	416,131	369,401
その他	232,941	219,586
無形固定資産合計	649,073	588,987
投資その他の資産		
繰延税金資産	2,189	32,690
デリバティブ債権	113,759	—
その他	53,497	55,113
貸倒引当金	△6,591	△7,020
投資その他の資産合計	162,855	80,784
固定資産合計	881,126	729,785
資産合計	5,496,335	5,383,494

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当連結会計年度 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	241,478	99,729
短期借入金	1,150,000	1,150,000
1年内返済予定の長期借入金	217,952	217,912
未払法人税等	80,360	95,144
契約負債	53,550	158,042
賞与引当金	13,962	15,969
株主優待引当金	4,540	5,946
その他	257,804	278,899
流動負債合計	2,019,648	2,021,644
固定負債		
長期借入金	682,594	464,682
長期預り保証金	13,000	13,000
繰延税金負債	83,850	65,301
固定負債合計	779,444	542,983
負債合計	2,799,092	2,564,627
純資産の部		
株主資本		
資本金	273,422	273,422
資本剰余金	300,915	285,975
利益剰余金	2,244,249	2,386,939
自己株式	△281,425	△200,964
株主資本合計	2,537,161	2,745,373
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	181,975	98,918
為替換算調整勘定	△21,894	△25,424
その他の包括利益累計額合計	160,081	73,493
純資産合計	2,697,242	2,818,866
負債純資産合計	5,496,335	5,383,494

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当連結会計年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
売上高	6,539,394	7,456,078
売上原価	4,442,460	5,077,280
売上総利益	2,096,934	2,378,797
販売費及び一般管理費	1,612,080	1,854,275
営業利益	484,853	524,522
営業外収益		
受取利息	10,013	11,292
為替差益	—	5,161
デリバティブ評価益	2,815	—
その他	3,678	2,933
営業外収益合計	16,507	19,388
営業外費用		
支払利息	16,905	22,911
為替差損	11,239	—
デリバティブ評価損	—	1,465
貸倒引当金繰入額	277	—
その他	4,683	4,776
営業外費用合計	33,106	29,154
経常利益	468,254	514,756
特別損失		
貸倒引当金繰入額	—	65,000
特別損失合計	—	65,000
税金等調整前当期純利益	468,254	449,756
法人税、住民税及び事業税	166,080	191,427
法人税等調整額	△6,876	△6,016
法人税等合計	159,203	185,411
当期純利益	309,051	264,345
非支配株主に帰属する当期純利益	7,303	—
親会社株主に帰属する当期純利益	301,747	264,345

連結包括利益計算書

	(単位：千円)	
	前連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当連結会計年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
当期純利益	309,051	264,345
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	53,882	△83,057
為替換算調整勘定	△4,989	△3,530
その他の包括利益合計	48,892	△86,587
包括利益	357,943	177,757
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	350,640	177,757
非支配株主に係る包括利益	7,303	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	273,422	317,193	2,031,300	△322,630	2,299,285
当期変動額					
剰余金の配当			△88,799		△88,799
親会社株主に帰属する 当期純利益			301,747		301,747
自己株式の取得				—	—
自己株式の処分		△16,277		41,205	24,927
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△16,277	212,948	41,205	237,875
当期末残高	273,422	300,915	2,244,249	△281,425	2,537,161

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	繰延ヘッジ損益	為替換算 調整勘定	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	128,093	△16,904	111,188	73,267	2,483,741
当期変動額					
剰余金の配当					△88,799
親会社株主に帰属する 当期純利益					301,747
自己株式の取得					—
自己株式の処分					24,927
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	53,882	△4,989	48,892	△73,267	△24,374
当期変動額合計	53,882	△4,989	48,892	△73,267	213,501
当期末残高	181,975	△21,894	160,081	—	2,697,242

当連結会計年度(自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	273,422	300,915	2,244,249	△281,425	2,537,161
当期変動額					
剰余金の配当			△121,654		△121,654
親会社株主に帰属する 当期純利益			264,345		264,345
自己株式の取得				△19	△19
自己株式の処分		△14,940		80,480	65,540
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△14,940	142,690	80,460	208,211
当期末残高	273,422	285,975	2,386,939	△200,964	2,745,373

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	繰延ヘッジ損益	為替換算 調整勘定	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	181,975	△21,894	160,081	—	2,697,242
当期変動額					
剰余金の配当					△121,654
親会社株主に帰属する 当期純利益					264,345
自己株式の取得					△19
自己株式の処分					65,540
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△83,057	△3,530	△86,587	—	△86,587
当期変動額合計	△83,057	△3,530	△86,587	—	121,623
当期末残高	98,918	△25,424	73,493	—	2,818,866

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当連結会計年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	468,254	449,756
減価償却費	33,303	35,833
敷金償却額	568	568
のれん償却額	46,730	59,037
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2,705	65,196
賞与引当金の増減額(△は減少)	1,844	2,007
返金負債の増減額(△は減少)	△5,160	△9,603
契約負債の増減額(△は減少)	△21,148	90,230
受取利息及び受取配当金	△10,014	△11,293
支払利息	16,905	22,911
為替差損益(△は益)	△25,116	△6,421
デリバティブ評価損益(△は益)	△2,815	1,465
売上債権の増減額(△は増加)	47,735	△80,084
棚卸資産の増減額(△は増加)	△32,704	35,470
前渡金の増減額(△は増加)	—	△34,581
仕入債務の増減額(△は減少)	98,954	△142,600
その他の資産の増減額(△は増加)	18,176	45,195
その他の負債の増減額(△は減少)	△9,159	31,492
小計	623,648	554,582
利息及び配当金の受取額	9,994	10,788
利息の支払額	△19,579	△21,747
法人税等の支払額	△179,322	△176,781
法人税等の還付額	333	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	435,074	366,841
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△25,101	△2,088
無形固定資産の取得による支出	△6,170	△11,205
事業譲受による支出	—	△160,000
デリバティブ取引による支出	△18,646	△4,099
デリバティブ取引による収入	26,970	15,904
貸付けによる支出	—	△65,000
子会社株式の取得による支出	△367,010	—
敷金及び保証金の差入による支出	—	△2,385
敷金及び保証金の回収による収入	390	—
外国為替差入証拠金の純増減額(△は増加)	△32,265	△21,807
その他	360	360
投資活動によるキャッシュ・フロー	△421,472	△250,321

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当連結会計年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△150,000	—
長期借入れによる収入	127,700	—
長期借入金の返済による支出	△226,567	△217,952
自己株式の処分による収入	4,869	840
配当金の支払額	△88,690	△121,414
財務活動によるキャッシュ・フロー	△332,688	△338,526
現金及び現金同等物に係る換算差額	13,099	△7,491
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△305,986	△229,497
現金及び現金同等物の期首残高	2,194,364	1,888,377
現金及び現金同等物の期末残高	1,888,377	1,658,880

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、本社に製品・サービス別の部署を置き、各部署は製品・サービスについて包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社は製品・サービス別セグメントから構成されており、「コンタクトレンズ事業」、「コンサルティング事業」及び「システム事業」の3つを報告セグメントとしております。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

「コンタクトレンズ事業」は、コンタクトレンズの製造及び販売等を行っております。

「コンサルティング事業」は、医療脱毛クリニック運営に関するコンサルティングを行っております。

「システム事業」は、リユース業界向けパッケージシステムの設計、開発、販売及び保守を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠したものであります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報
前連結会計年度(自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結財務諸 表計上額 (注) 2
	コンタクト レンズ事業	コンサルテ ィング事業	システム事 業	計		
売上高						
コンタクトレンズ						
当社ブランド						
クリアレンズ	3,198,783	—	—	3,198,783	—	3,198,783
カラーレンズ	708,135	—	—	708,135	—	708,135
プライベートブランド						
クリアレンズ	1,812,175	—	—	1,812,175	—	1,812,175
カラーレンズ	346,730	—	—	346,730	—	346,730
その他	8,490	—	—	8,490	—	8,490
コンサルティング	—	60,000	—	60,000	—	60,000
システム	—	—	405,078	405,078	—	405,078
顧客との契約から生じ る収益	6,074,315	60,000	405,078	6,539,394	—	6,539,394
外部顧客への売上高	6,074,315	60,000	405,078	6,539,394	—	6,539,394
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	6,074,315	60,000	405,078	6,539,394	—	6,539,394
セグメント利益	628,997	30,796	57,516	717,310	△232,457	484,853
セグメント資産	2,890,112	33,599	822,786	3,746,499	1,749,836	5,496,335
その他の項目						
減価償却費	12,585	131	18,326	31,042	2,260	33,303
のれんの償却額	—	4,099	42,630	46,730	—	46,730
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	54,521	—	286,439	340,960	—	340,960

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△232,457千円は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門に係る販売費及び一般管理費であります。
- (2) セグメント資産の調整額1,749,836千円は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の余剰運用資金(現金及び預金)及び提出会社の管理部門に係る資産等であります。
- (3) 減価償却費の調整額2,260千円は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門に係る有形固定資産及び無形固定資産の減価償却費であります。

2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当連結会計年度(自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結財務諸 表計上額 (注) 2
	コンタクト レンズ事業	コンサルテ ィング事業	システム事 業	計		
売上高						
コンタクトレンズ						
当社ブランド						
クリアレンズ	3,432,556	—	—	3,432,556	—	3,432,556
カラーレンズ	830,338	—	—	830,338	—	830,338
プライベートブランド						
クリアレンズ	1,993,427	—	—	1,993,427	—	1,993,427
カラーレンズ	708,979	—	—	708,979	—	708,979
その他	10,903	—	—	10,903	—	10,903
コンサルティング	—	31,000	—	31,000	—	31,000
システム	—	—	448,872	448,872	—	448,872
顧客との契約から生じ る収益	6,976,206	31,000	448,872	7,456,078	—	7,456,078
外部顧客への売上高	6,976,206	31,000	448,872	7,456,078	—	7,456,078
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	6,976,206	31,000	448,872	7,456,078	—	7,456,078
セグメント利益	690,542	13,761	90,488	794,791	△270,269	524,522
セグメント資産	3,027,946	97,194	771,808	3,896,949	1,486,545	5,383,494
その他の項目						
減価償却費	14,921	131	18,266	33,319	2,513	35,833
のれんの償却額	12,306	4,099	42,630	59,037	—	59,037
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	12,251	—	—	12,251	1,042	13,293

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△270,269千円は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門に係る販売費及び一般管理費であります。
 - (2) セグメント資産の調整額1,486,545千円は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の余剰運用資金(現金及び預金)及び提出会社の管理部門に係る資産等であります。
 - (3) 減価償却費の調整額2,513千円は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門に係る有形固定資産及び無形固定資産の減価償却費であります。
 - (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額1,042千円は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門に係る有形固定資産の増加額であります。
2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
株式会社パレンテ	1,086,151	コンタクトレンズ事業
株式会社ビジョナリーホールディングス	1,011,328	コンタクトレンズ事業
HOYA株式会社アイケアカンパニー	701,525	コンタクトレンズ事業

当連結会計年度(自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
株式会社パレンテ	1,268,108	コンタクトレンズ事業
株式会社ビジョナリーホールディングス	1,088,172	コンタクトレンズ事業

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				全社・消去	合計
	コンタクト レンズ事業	コンサルテ ィング事業	システム 事業	計		
当期末残高	—	32,456	383,675	416,131	—	416,131

(注) のれんの償却額に関しては、セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				全社・消去	合計
	コンタクト レンズ事業	コンサルテ ィング事業	システム 事業	計		
当期末残高	—	28,356	341,045	369,401	—	369,401

(注) のれんの償却額に関しては、セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当連結会計年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
1株当たり純資産額	421.25円	431.45円
1株当たり当期純利益	47.25円	40.72円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	47.24円	—円

(注) 1. 当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当連結会計年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	301,747	264,345
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	301,747	264,345
期中平均株式数(株)	6,386,715	6,491,279
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	950	—
(うち新株予約権(株))	(950)	(—)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—